

# 平成26年度事業計画

## 1 はじめに

平成26年度は、65歳人口のピークとなります。少子高齢化が進展し労働人口の大幅な減少が見込まれる一方、景気は一昨年末を底に回復傾向が持続しているといわれます。しかし、センターを取り巻く状況は、雇用情勢の変化、事業モデルの似た民間企業の台頭など依然として厳しい状況下にあります。

こうした中、センターは、「人材育成・就業拡大」「意識改革・社会貢献」「シルバーの運営」を目標に中期計画を策定しました。平成26年度は中期計画の2年目です。基本目標の達成に向けて事業運営を着実に推進することが必要となります。その中でも、会員の7割が希望している「就業機会の拡大」に努めることが重要と考えます。そのためには、職種の多様化、特殊技能を生かせる就業機会の確保など、会員の働きに合わせた就業現場を獲得する仕組みづくりが欠かせません。また、団塊世代が65歳に到達するという視点から考えれば、新規入会者を確保するには最大の機会ともいえます。魅力あるセンターの仕組みと地域ニーズに応えられる体制を構築することで、団塊世代の取り込みに大きな成果を期すると考えます。

センターが会員・地域社会の双方からさらに必要とされる存在となるために、会員の自主的、主体的な組織活動を尊重しつつ、公益社団法人としての社会的役割を果たしていきます。

## 2 基本目標

中期計画に示した契約高、会員数、社会奉仕活動参加会員数の目標達成を目指して、

- ① 会員の就業機会の拡大、② 地域活性化のための社会奉仕活動の充実等に取り組んでいきます。センターとして高齢者の意欲や能力を生かすことができる施策や事業を打ち出していきます。高齢者の心を捉えることができる魅力あるセンターづくりに努めます。

## 3 事業の重点目標

- (1) 事業の拡大と就業開拓
- (2) 会員数の増加
- (3) 会員の技術研修
- (4) 社会奉仕活動の推進
- (5) 安全就業対策の推進
- (6) 事務局体制の強化

## 4 事業実施計画

### (1) 事業の拡大と就業開拓

民間企業や家庭での就業機会を拡大するとともに、公共事業の規模を維持します。

- ① 民間企業や家庭からの受注拡大を図るため、就業開拓の専門担当者を事務局内に配置し就業先を開拓します。
- ② お客様満足度調査の実施を継続し、発注者の意向を把握することで満足度の高い事業の展開を行っていきます。
- ③ 会員の持つ豊富な知識や経験を活かすことができる個別事業を検討していきます。
- ④ 女性会員を対象とした懇談会や会議を開催し就業拡大につなげます。
- ⑤ 大田区及び区内の関係団体（商工業団体等）との連携を強化し、新規事業が受注できるよう積極的に働きかけを行います。
- ⑥ 「ちょこっとサービス」の内容の見直しと改善を行います。
- ⑦ 未就業会員へのフォローアップを継続し、就業に結びつけるプログラムの検討を行います。
- ⑧ 理事・委員による就業現場の巡回を実施し、就業現場の把握・指導の徹底を行い、適正就業を進めることで就業機会の確保に努めます。
- ⑨ 大田区の高齢者就労支援事業に対する協力・支援の一環として“大田区いきいきしごとステーション”との連携を強化し、相互に事業の拡大と多様化を図ります。

### (2) 会員数の増加

活動意欲のある高齢者が就業や社会奉仕活動などで活躍できるような場を作ります。

- ① 女性の入会を促進するため、積極的な働きかけを行います。
- ② センター広報誌の発行  
年に2回外部向け広報誌を発行することにより、地域社会に対し情報を発信し、センター事業のPR活動に努めます。
- ③ ホームページによる普及活動  
センターの事業や活動の公開の場としてホームページを活用し、入会の促進を図ります。さらに魅力あるホームページを目指し、ホームページのリニューアルを検討します。
- ④ 広告媒体の検討・改善  
パネル・リーフレットの見直しを行い、また、様々な広告媒体の導入を検討・実施します。

#### ⑤ 各種イベントへの参加

大田区及び地域のイベントの参加時に、センター事業の普及啓発を行います。

### (3) 会員の技術研修

常に質の高いサービスを提供できるよう会員に対し、技術研修など就業に関わる研修を行います。

#### ① 就業機会拡大のための研修・講習会

民間の清掃管理会社のモデルルームでの実践的な研修を行い、清掃の就業経験がない会員や経験の浅い会員に就業の機会を提供します。また、東京しごと財団主催の就業支援講習等（植木剪定・家事援助サービスコーディネーター等）に参加します。

#### ② 技術向上のための研修・講習会

発注者の期待に応えられるよう清掃業務についている会員を対象にレベルアップ研修を行います。

### (4) 社会奉仕活動の推進

会員の社会奉仕活動への参加意欲をさらに高め、地域に愛されるセンターになるために、大田区シルバー人材センターらしい社会貢献活動を企画・実施します。

① 大田区及び地域の各団体ならびに警察署等と連携した社会奉仕活動を実施します。（多摩川河川敷清掃活動・こらぼ大森夏祭り・池上祭・ポレポレエコまつり・OTA ふれあいフェスタ・しょうがいしゃの日の集い・東京大マラソン祭り・交通安全パレード等）

② 地域包括支援センター、他団体等との連携を強化し、引き続きシルバー健康講座を実施します。

③ 大田区保健所健康づくり課主催の講演会開催時に、乳幼児一時保育預かりをボランティアとして実施します。

### (5) 安全就業対策の推進

安全健康対策基本計画に基づき、会員の安全健康就業を推進します。

① 事故原因を分析することにより、事故の再発防止に取り組みます。

② センター広報誌に安全コーナーを設置し、安全就業に関しての周知を図ります。

③ 安全標語の募集・選定を実施し、会員の安全意識の啓発に努めます。

④ 各種安全講習会（自転車安全講習会等）を開催します。

⑤ 安全推進の再構築を行い各職群に安全就業を徹底し、就業先での安全パトロールを計画的・効率的に実施します。

## (6) 事務局体制の強化

職員の事務能力の向上を図り、役員や会員をより円滑にサポートできる体制をつくれます。

- ① 年間を通じて業務目標を定め、計画的に業務を進めるとともに、職員の資質向上・能力開発等を図ります。
- ② 財政、事業運営の安定化に向けて、自主財源の確保、売上代金の迅速な回収、適正就業の推進に努めます。
- ③ 事業運営のコンプライアンス（法令遵守）に対する意識を高めるため、研修を行います。